

水道事業設備台帳・現場点検システム（概要版）

1 水道事業設備台帳システムの概要

本市の水道事業が保有する施設、設備に関する各種情報を電子化し、一元化、高度化、共有化を図ることにより、効率的な情報管理を行うために、平成29年度から令和元年度にかけて、水道事業設備台帳システムの導入を行い、今後は設備台帳システム及び現場点検システムにより、施設の維持管理を適正に行う。

(1) システム全体概要

水道事業設備台帳システムは、大きく設備台帳システムと現場点検システムの2つのシステムで構成されている。設備台帳システムは、施設・設備に関する現場情報（仕様、図面、点検・修繕など）を一元管理するシステムであり、現場点検システムは、日常の現場点検の情報を一元管理するシステムである。

<設備台帳システムの機能>

- ・設備台帳管理、工事台帳管理
- ・保全管理（保守点検、故障・修繕等）
- ・健全度管理（メーカー点検結果など）
- ・更新計画の作成支援

<現場点検システムの機能>

- ・日常、巡視点検管理
- ・維持管理履歴管理



工事情報、工事図面の管理



データ取込み



メーカー点検等、保守点検情報の管理

(3) 現場点検システムの基本機能

管理項目	基本機能
日常・巡回点検管理	これまで紙ベースで記入、Excel 転記により管理していた日常点検の情報をタブレット端末等から入力し、クラウド上でデータ管理
維持管理履歴管理	機器ごとに発行したタグにより施設・設備の情報（点検・作業情報等）を一元管理
位置情報管理	地図・平面図等から各施設・設備の設置場所を基に、様々な情報を一元管理

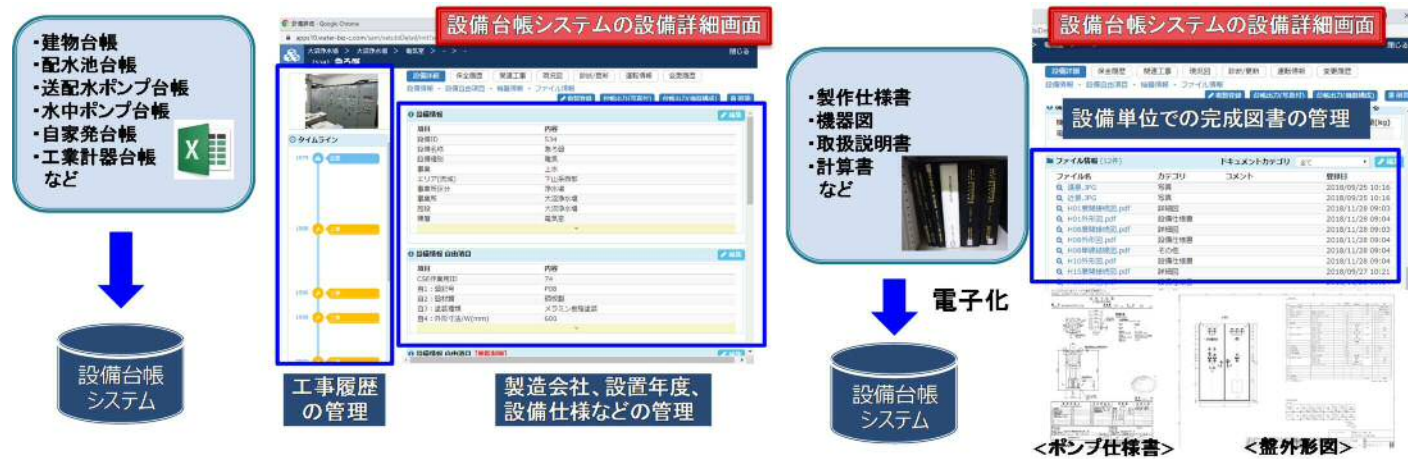
(2) 設備台帳システムの基本機能

管理項目	基本機能
設備情報管理	これまでExcel等で管理していた設備台帳をクラウド上で一元管理
完成図書管理 工事図面管理	これまで紙ベースで管理していた完成図書（製作仕様書、機器図など）を電子化（スキャン）し、クラウド上で一元管理（約44,000枚）
保守点検情報管理	点検単位（点検業者・地区）ごとの点検結果（Excel）を設備台帳システムに取り込むことで、点検結果に基づく設備の状態を管理



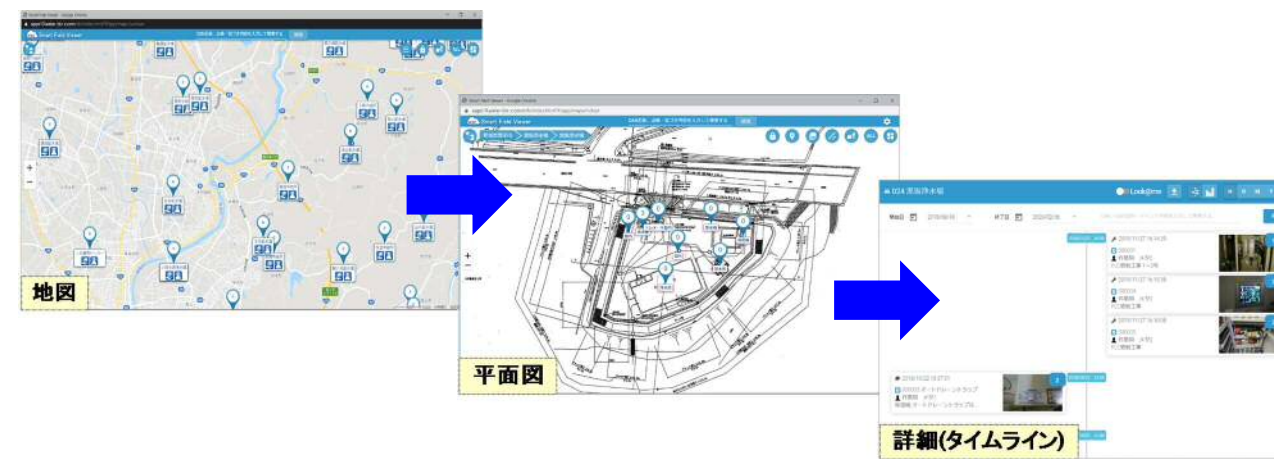
タブレット端末を活用した点検結果の管理

管理タグによる維持管理情報の管理



設備台帳の情報管理

完成図書の管理



位置情報の管理（施設、設備）